



第312号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

発行人 川井清治郎

大阪市西区新町1丁目5-7

四つ橋ビル8階

TEL (531) 9717・5910

定価 1部 50円

大阪府危険物取扱者試験

2月24日(日)府大で

甲種と乙種第4類実施

大阪府では昭和54年度第3回目試験を、2月24日府立大学で実施する。

- ・試験日 2月24日(日)
- ・試験場 府立大学(高野線白鷺駅)
- ・試験種類 甲種と乙種第4類
- ・願書受付 2月7日、8日
- ・受付場所 大阪府職員会館

受験準備講習は別掲のとおりであるが、今回は日曜日特別コースが設けられた。

■日曜日特別コース

日曜コースとは、初心者レベルアップをはかるため、又休日受講希望に副い、次の点を配慮の上企画された。

- ①講習内容を拡充するため講習時間を延15時間とする。
- ②講習日を日曜日とする。
- ③定員を50名とする。
- ④講習効果をあげるため模擬テストを実施する。

ガソリン混入灯油販売

誤って灯油タンクにガソリン受入れ

大阪市消防局予防部危険物課

灯油需要期に入った11月2日夕方、平野区のカソリンスタンドで、ガソリンの入った灯油が販売され大騒ぎとなった。

不良灯油はすでに1週間前から約2,000ℓも販売されており、幸い2次災害が発生していなかったが、日増しに寒さが厳しくなる折柄、又連休をひかえ、消防機関は不良灯油の回収と事故防止に大作戦を展開、新聞、テレビも市民に呼びかけた。

次にこの事故の概要について報告し、今後の危険物の安全管理の参考に供したい。

・発生場所

大阪市平野区喜連西 A給油所

危険物施設	}	給油取扱所……ガソリンの地下タンク
		3基
		灯油専用の一般取扱所……灯油の地下タンク1基

・発生状況

11月2日、午後5時30分ごろA給油所に一般市民が半透明のポリエチレンの容器を持って灯油を買いに来たの

あらゆる消防設備・設計・施工

非常扉の自動開錠装置	}	YMオートアンロック
防火扉・危険物貯蔵所等の自動閉鎖装置		
泡・ガス・エアーム消火装置		

YM式オートアンロック西日本総括	}	代理店
斉田式救助袋 近畿地区		
日本ドライケミカル(株)		
ヤマト消火器(株)		

株式会社
三和商会
TEL 06 (443) 2 4 5 6



で、前記の灯油専用の一般取扱所の地下タンクから計量器により、灯油を容器に入れたところ、赤く着色しているのに気づき、これはおかしいと不審に思い調べた。その結果ガソリンが灯油に混入しており、すでに灯油として2,030 lが販売されていることが判明した。

この地下タンクは、10,000 l容量で10月26日午前10時ごろ、灯油5 kℓが残っていたので、灯油4 kℓを受け入れたつもりであったが、実際には発注者と受注者間での油種の違い及び地下タンクに受け入れるときの油種確認の不徹底などによりガソリン4 kℓを灯油の地下タンクに入れたものである。

これらのいきさつについてふれてみると、10月25日、A給油所長は此花区にあるK油槽所の配送センターに住吉区にある自家給油所（A給油所の傍系事業所）用としてガソリン6 kℓ、A給油所用として灯油4 kℓを発注したといっているが、配送センターでは、ガソリンだけの注文を受けたと言っており、まず、最初の不手際があった。

したがって、タンクローリーにはガソリン10 kℓを積み込み、K油槽所を出発し、まず、住吉区にある自家給油所に行き、A給油所長が立合い、指示に従ってガソリン6 kℓを地下タンクに入れた。

つぎに、A給油所に行き、タンクローリーの運転手は初めて来た給油所であるため勝手がわからず、すべて、A給油所長の指示に従い、ガソリン4 kℓを直上注入方式の灯油の地下タンクに入れた。

すなわち、A給油所長は、灯油を発注したのだから灯油であるという先入感があり、一方タンクローリーの運転手は、納品書どおりガソリンを積んできて、A給油所長の指示で地下タンクに入れ、納品書にサインまでもらっているため、当時、両者とも何の不審も抱いていなかった。

これは、給油所側とタンクローリーの運転手の間で油種の再確認が行われなかったこと、又、納品書の記載内容をチェックせずサインしたことなど、まったく初歩的

なミスをおかし、このような大きな騒ぎとなったもので、ちょっとした両者間の確認、納品書のチェックをすれば防げた事故であった。

○回収状況

通報を受けた消防機関としては、事態の重大性、緊急性を痛感し、直ちに、平野消防署に対策本部を設け、二次的災害の防止のため、販売されたガソリンが混入した灯油を一刻も早く回収するよう検討された。

そして、消防車やヘリコプターによる市民への呼びかけ、付近住宅の戸別訪問や広報ビラによる周知、さらに新聞、テレビによる報道などが行われ、11月7日までの6日間で遠くは奈良県天理市の得意先の分も含み販売量の98%の回収が達成された。

○おわりに

本事故は、幸いにして火災などの二次的な事故は発生していないが、給油所長という立場にあり、又、危険物取扱者の資格を有しながら、油種の確認を怠るといふ初歩的なミスにより、市民に大きな不安感、不信任を与え、販売されたものの回収及びその後の処理にあたっても公私とも莫大な労力と経費を費やし、さらには、給油所の営業を一時停止しなければならないことなど社会的、経済的に大きな損失となった。

再度、このような不祥事が発生しないよう関係事業所におかれては施設の維持管理はもとより、人的面からの安全管理を大いに推進していただくよう切望するものである。



＜参考資料＞

乙種4類 もぎ例題

基礎物理・化学

問題 1. 元素・化合物及び混合物について、次の組合せのうち正しいものはどれか。

(元 素) (化合物) (混合物)

- (1) 酸 素 空 気 灯 油
- (2) 水 素 ガ ラ ス 水酸化ナトリウム
- (3) 硫 黄 アンモニア 灯 油
- (4) 蒸 留 水 食 塩 空 気
- (5) ナトリウム ガソリン 水 銀

問題 2. 次の記述のうち~~~~~の用語で正しいものはどれか。

- (1) 一酸化炭素は還元されて二酸化炭素になる。
- (2) 酸と塩基を反応させると分解する。
- (3) pH 値が7より大きい水溶液を酸性という。
- (4) アルコール類に含まれる原子団は水酸基である。
- (5) 硫酸、硝酸は有機化合物である。

問題 3. 次のうち正しいものはどれか。

- (1) 銀の体膨張率は線膨張率の約3分の1である。
- (2) 氷の熱伝導率は空気より大きい。
- (3) 水の比重は水銀より大きい。
- (4) ガソリンの比熱は水より大きい。
- (5) 空気の体膨張率は水より小さい。

問題 4. 12.5°Cのエタノール32gに220.8カロリーの熱量をあたえたら、エタノールの温度は何度になるか。ただし、エタノールの比熱は0.6cal/°C・gとする。

- (1) 14.5°C
- (2) 15.5°C
- (3) 21.5°C
- (4) 24.0°C
- (5) 25.0°C

問題 5. 次のうち化学変化はどれか。

- (1) テトロンと羊毛を摩擦したら静電気が発生した。
- (2) ドライアイスを空气中に放置したら二酸化炭素ガスが発生した。
- (3) ニクロム線に電流を通ずると真赤になって発熱した。
- (4) ナフタリンを放置しておいたら結晶がなくなった。
- (5) 炭酸水素ナトリウムを加熱したら二酸化炭素が発生した。

問題 6. 水素の爆発限界を4%~75%とすると、次の記述のうち誤っているものはどれか。

- (1) 水素85ℓと空気15ℓの混合気は燃焼しない。
- (2) 水素75ℓと空気25ℓの混合気は燃焼する。
- (3) 水素40ℓと空気60ℓの混合気は燃焼する。
- (4) 水素4ℓと空気96ℓの混合気は燃焼しない。
- (5) 水素2ℓと空気98ℓの混合気は燃焼しない。

問題 7. 可燃物が燃焼しやすい条件で次のうち最も適当なものはどれか。

	熱伝導率	発熱量	酸素との親和力
(1)	小	小	大
(2)	小	大	大
(3)	小	大	小
(4)	大	大	小
(5)	大	大	大

問題 8. 次の組合せのうちで燃焼の起りうるものはどれか。



消防用設備

SAFETY AND FIRE ENGINEERING  NFPA®
米国防火協会会員

株式会社 マルナカ

- | | |
|-----------|-----------|
| 防災・設備・設計 | 消火器具一式 |
| 施工・保守・点検 | 避難設備 |
| 屋内外消火栓設備 | 自動火災報知設備 |
| スプリンクラー設備 | 非常放送設備 |
| ドレンチャー設備 | 漏電警報器 |
| 泡消火設備 | 防災設備全般 |
| ガス消火設備 | 安全衛生保護具機器 |
| 粉末消火設備 | 公害防止機器 |

- 本 社 〒530 大阪市北区中崎西4-2-27
 TEL (06)371-7775(代)・372-3277(代)
- 東京支店 〒112 東京都文京区千石4丁目24番 4号
 TEL (03)944-0161(代)
- 神戸支店 〒653 神戸市長田区東尻池町3の4の19
 TEL (078)681-5771

- (1) ガソリン—酸 素—炭 素
- (2) アセチレン—空 気—電 気 火 花
- (3) 水 素—静電気火花—二酸化炭素
- (4) 木 材—硫 黄—ライターの火
- (5) 紙 —酸化炭素—灯 油

問題 9. 消火方法の主な効果で、誤りはどれか。

- (1) 石油タンク火災に化学泡を放射して消火……
冷却効果
- (2) アルコールランプのふたをして消火………
窒息効果
- (3) ガスコンロのバルブをしめて消火…除去効果
- (4) 木造住宅火災に注水して消火………冷却効果
- (5) 炭火を火消しつぼに入れて消火……窒息効果

問題 10. 油火災、電気火災のいずれにも適応する消火剤の組合せとして正しいものはどれか。

- (1) 酸アルカリ消火剤と二酸化炭素
- (2) 霧状の強化液と水溶性液体用泡
- (3) 化学泡とりん酸塩類を使用する消火粉末
- (4) エアー・フォームとたん白泡
- (5) 一臭化一塩化メタンと炭酸水素ナトリウムを使用する消火粉末

各 論

問題 11. 各類の共通特性について、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 第1類は、一般に無機化合物で、酸素を多量に含有し、単独では燃焼しない。
- (2) 第2類は、すべて可燃性の固体で、なかには空気中で自然発火するものもある。
- (3) 第3類は、すべて固体の無機物で、水と作用すると発熱し、なかには発火するものもある。
- (4) 第5類は、すべて可燃性の有機化合物で、物質の中に、炭素、酸素、窒素を含有している。
- (5) 第6類は、すべて不燃性の液体で、水と作用

して発熱する。

問題 12. 第4類の共通特性で、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 一般に水より軽く、水にとけにくい。
- (2) 一般に引火点は着火温度より高い。
- (3) 一般に蒸気は空気より重い。
- (4) 常温では液状又は固状である。
- (5) 引火点の低いものほど引火危険性は大きい。

問題 13. 第4類の貯蔵、取扱いの注意事項で、正しいものはどれか。

- (1) 静電気発生のおそれのあるものを取扱う機器は、完全に絶えんすること。
- (2) 引火点以上の温度で貯蔵すること。
- (3) 廃棄するときは、水中に放出すること。
- (4) 空容器であっても蒸気が残っていることがあるので火気に注意すること。
- (5) 引火のおそれがあるから、溶接作業の風上で取扱うこと。

問題 14. 軽油、エーテル、メタノールの着火温度の高低について、正しいものはどれか。

(着火温度)



- (1) 軽 油 メタノール エーテル
- (2) 軽 油 エーテル メタノール
- (3) メタノール エーテル 軽 油
- (4) エーテル メタノール 軽 油
- (5) エーテル 軽 油 メタノール

問題 15. 次の危険物のうち、水より軽く、水にとけるものはいくつあるか。

テレピン油、軽油、クレオソート油、氷さく酸ピリジン、メチルエチルケトン、メチルアルコール、キシロール、クロルベンゾール、ゴマ油

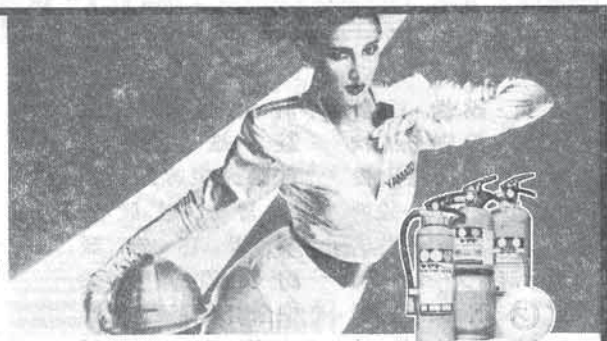
- (1) 2つ (2) 3つ (3) 4つ (4) 5つ
- (5) 6つ

A HAPPY NEW YEAR!

YAMATO '80 私の時代
時を超えて限りなく...

過去・現在・そして未来へ—
 火災の恐怖から
 豊かな社会を守るために
 心の安らぎの輪を
 より大きく広げるために
 YAMATOの挑戦は続きます。
 胸にファイティング
 スピリットを秘めながら...

防災に取り組んで60余年
 永年の経験と実績をもとに
 ヤマトは明日の防災を見つめ
 さらに新たな飛躍を期します。
 '80年代—それは限りない挑戦への
 貴重な第一歩なのです。



本 社 〒537 大阪市東成区深江北1-7-11
 ☎06(976)0701・7701
 東京本社 〒108 東京都港区白金台5の17番2号
 ☎03(446)7151

北海道・仙台・新潟・大宮・横浜・静岡・名古屋・富山・岐阜
 岡山・尾道・広島・高松・松山・北九州・福岡・大分・鹿児島

ヤマト消火器株式会社

問題 16. ガソリンについて、次の文章の□で誤っているものはどれか。

ガソリンは主として原油を分留して、およそ

イ. 30°C~200°C の留分をとったもので、

ロ. 無色透明 の液体である。比重は約

ハ. 1.06 、水にはほとんど ニ. 溶けず

爆発限界の ホ. 下限 は1.4%と小さく、少量の蒸気が空気中に混っても危険である。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) ニ (5) ホ

問題 17. 「比重0.79、引火点12°C、着火温度368°C、爆発限界3.3%~19%で、水とは任意の割合で混和する」。この物質は次のうちどれか。

- (1) ソルベントナフサ
(2) ベンゾール
(3) 氷さく酸
(4) エチルアルコール
(5) テレピン油

問題 18. 第 4 類危険物と適応する消火剤との組合せで、正しいものはどれか。

- (1) アセトン — 化学泡
(2) ベンゾール — 棒状の強化液
(3) 軽油 — 酸アルカリ消火液
(4) エチルアルコール — 水溶性液体用泡
(5) 氷さく酸 — エアフォーム

問題 19. 植物油類について、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 植物油とはグリセリンと高級脂肪酸の化合物である。
(2) 引火点はおよそ90°C~130°Cである。
(3) ヨウ素価 130 以上の油は自然発火しやすい。
(4) キリ油、あまに油はヨウ素価が 130 以上である。
(5) 冷水にも温水にもとけないが、ベンジンには

よくとける。

問題 20. 次のうち誤っているものはどれか。

- (1) ピリジンは引火点が120°Cで第3石油類としてとりあつかう。
(2) キシロールには3つの異性体がある。
(3) アセトンは第1石油類で水によく溶ける。
(4) トルオールは別名トルエンといい、第1石油類としてとりあつかう。
(5) さく酸アミルは、さく酸とアミルアルコールが化合したもので、芳香性が強い。

危険物関係法令

問題 21. 危険物の規制に関する記述で、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 指定数量以上の危険物を航空機や鉄道で運搬するときは出発地の消防署長の承認を必要としない。
(2) 指定数量以上の危険物を車両で運搬するときは、消火器や標識が必要である。
(3) 製造所等でも、指定数量未満の危険物は誰れでも取扱うことができる。
(4) 指定数量未満の危険物でも、その貯蔵取扱いの方法について消防職員より指示されることがある。
(5) 指定数量以上の危険物を10日以内に限り仮に貯蔵する場合でも、消防長又は消防署長の承認を必要とする。


問題 22. 危険物取扱者免状について、次のうち正しいものはどれか。

- (1) 氏名又は居住地を変更したときは、居住地を管轄する市町村長等に書替えを申請すること。
(2) 免状の再交付をうけたが、亡失した免状が発見されたときは、10日以内に、再交付をうけた都道府県知事に提出すること。

◎ 株式会社 初田製作所

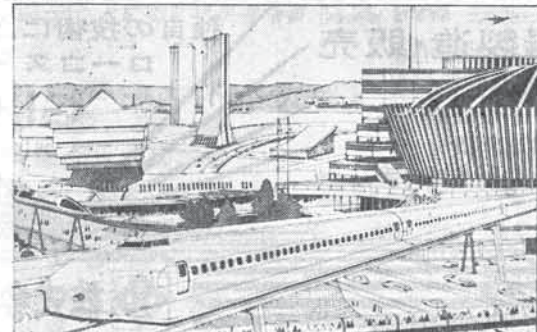
本社工場 / 大阪府枚方市招提田三丁目五番地
電話 〇六四七三〇七〇 五六一八八(代)

大阪支社 / 電話 〇六四七三〇四八七 一〇一四
堺出張所 / 電話 〇七二二一三三四四



消火器・消火装置の総合メーカー

未来派消火器



防災設備機器で
未来をひらく
技術のハツタ

- (3) 丙種免状は、第4類の乙種危険物を取扱うことのできる資格である。
- (4) 危険物取扱者が消防法令に違反したときは、1年以内に都道府県知事が行う保安講習をうけること。
- (5) 勤務先を変更したときは10日以内に勤務地を管轄する都道府県知事に変更届を提出すること。

問題 23. A・B及びCはいずれも石油類である。これらを下表の数量ずつ貯蔵するとすれば指定数量の何倍を貯蔵することになるか。次のうち正しいものを選び。

(石油類の品名)	A	B	C
(引火点)	180°C	50°C	-11°C
(貯蔵量)	2,000ℓ	2,000ℓ	2,000ℓ

- (1) 10.5倍 (2) 13.5倍 (3) 15.5倍
- (4) 20倍 (5) 25倍

問題 24. 次の製造所等のうち、保安監督者を定めなければならないものはどれか。

- (1) ガソリン12,000リットルを貯蔵する屋外タンク貯蔵所。
- (2) 軽油を移送する移動タンク貯蔵所。
- (3) 灯油1,000リットルを貯蔵する屋外貯蔵所。
- (4) あまに油4,000リットルを貯蔵する屋内タンク貯蔵所。
- (5) 重油50,000リットルを貯蔵する地下タンク貯蔵所。

問題 25. 市町村長等は、製造所等の設置者が法令に定めることに違反した場合は、期間を定めて製造所等の使用停止を命ずることができるが、次のうち使用停止命令に該当しないものはどれか。

- (1) 定められた期間内に保安講習を受けないとき
- (2) 保安監督者を定めずに危険物を取扱ったとき
- (3) 貯蔵取扱い基準に違反し、基準に従うよう命

ぜられたのになお違反して取扱ったとき。

- (4) 完成検査をうけないで製造所等を使用したとき。
- (5) 許可をうけないで製造所等の構造設備を変更したとき。

問題 26. 次の表は製造所等の保安距離、空地及び最大数量の制限に関する規制の有無を示したものである。誤っているものはどれか。

	区分	保安距離規制の有無		空地規制の有無		最大貯蔵取扱い量制限の有無	
		有	無	有	無	有	無
(1)	地下タンク貯蔵所	無	無	無	無	無	無
(2)	屋内貯蔵所	有	有	有	有	無	無
(3)	屋内タンク貯蔵所	無	無	無	無	有	有
(4)	製造所	有	有	有	有	無	無
(5)	販売取扱所	無	無	無	無	無	無

問題 27. 製造所等の位置、構造、設備について次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 屋内貯蔵所は原則として平家建とし、建築面積は1,000㎡以内とすること。
- (2) 第1種販売取扱所は建物の1階に設けること
- (3) 地下タンク貯蔵所のタンク頂部は、0.6m以上地盤面から下にあること。
- (4) 給油取扱所は間口10m以上、奥行6m以上の空地を保有すること。
- (5) 屋内タンク貯蔵所専用室出入口には、高さ0.2m以上のしきいを設けること。

問題 28. 製造所等の標識、掲示板について次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 火気厳禁は赤地白文字とする。
- (2) 禁水は青地白文字とする。
- (3) 所有者、管理者又は占有者の氏名を掲示する。
- (4) 掲示板の寸法は、長さ0.6メートル以上、巾0.3メートル以上とする。

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(253)0414(代表)

株式会社技研

〒542 大阪市南区北炭屋町27番地 野々垣ビル ☎ 253-0414~5

(5) 給油中エンジン停止は黄赤色地 黒文字とする。

問題 29. ガソリンを貯蔵する屋外タンク貯蔵所について、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 保安監督者を選任して、市町村長等に届出ること。
- (2) 敷地外の住居から10メートル以上の保安距離を確保するとともに、敷地内距離もとること。
- (3) 周囲にはタンク容量の50%以上の容量を有する防油堤を設けること。
- (4) 防油堤の水抜口は常時閉鎖しておくこと。
- (5) 径30ミリメートル以上の通気管を設け、細目の銅あみ等による引火防止装置を施すこと。

問題 30. 灯油を貯蔵する屋内貯蔵所の構造設備について、次のうち誤っているものはどれか。
(特定屋内貯蔵所を除く)

- (1) 平家建とすること。
- (2) 建築面積は100㎡ごとに間仕切りを設けたときは1,500㎡とすることができる。
- (3) 開口部には甲種か乙種防火戸を設けること。
- (4) 屋根は軽量な不燃材料でふくこと。
- (5) 床面は地盤面以上とすること。

問題 31. 移動タンク貯蔵所によるガソリンの移送及び取扱いについて、次のうち正しいものはどれか。

- (1) 他のタンクへ注入するときは、火花の出ない原動機を使用すること。
- (2) 甲種又は、乙種第1類取扱者が同乗すること
- (3) 完成検査済証を備え、長距離にわたり移送する時には、2人以上の運転要員を確保すること
- (4) ガソリンは、甲種危険物であるので、丙種危険物取扱者は同乗することができない。
- (5) ガソリンは第1石油類であるので、移動タンク貯蔵所の最大容量は、4,000ℓである。

問題 32. 次の製造所等のうち、小型消火器のみを設置してよいものはいくつあるか。

製造所、第一種販売取扱所、給油取扱所、移動タンク貯蔵所、屋外タンク貯蔵所、一般取扱所、屋外貯蔵所、地下タンク貯蔵所

- (1) 2つ (2) 3つ (3) 4つ (4) 5つ (5) 6つ

問題 33. 警報設備、消火設備の区分で誤っているものはどれか。


- (1) 警 鐘 ————— 警 報 設 備
- (2) 泡を放射する
大型消火器 ———— 第4種消火設備
- (3) スプリンクラー設備 ———— 第3種消火設備
- (4) 消防機関へ通報
できる電話 ————— 警 報 設 備
- (5) 乾燥砂 ————— 第5種消火設備

問題 34. 危険物の貯蔵取扱いについて次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 危険物くず、かすは1週間ごとに適切な廃棄処分をすること。
- (2) 保護液中に保存する危険物は、保護液から露出しないようにすること。
- (3) 屋内貯蔵所では類を異にする危険物を同一室に貯蔵しないこと。
- (4) 防油堤の水抜口は通常閉鎖しておくこと。
- (5) 販売取扱所では危険物は容器入りのままで販売すること。

問題 35. 次のうち、危険物の規則に関する政令で、警報設備として定められていないものはどれか。


- (1) 消防機関へ報知できる電話
- (2) 拡声設備
- (3) 非常ベル装置
- (4) 発煙筒
- (5) 警 鐘



消防機器の
トップ・メーカー



消防自動車から消火器まで



森田ポンプ株式会社
本社 大阪市生野区小路東5-5-20
☎ 06 (751) 1 3 5 1 (大代表)

危険物取扱者養成講習ご案内

昭和54年度第3回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	2月6日(水)、12日(火)、18日(月)	午前9時30分～午後4時	大阪科学技術センター (地下鉄本町駅ヨリ北へ約3分)
乙種第4類	1期	2月5日(火)、12日(火)	9時30分～4時 大阪府商工会館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)
	2期	2月6日(水)、13日(水)	9時30分～4時 大阪府商工会館
	3期	2月7日(木)、15日(金)	9時30分～4時 大阪府商工会館
	4期	2月4日(月)、13日(水)	10時～4時30分 ※堺市民会館 (高野線堺東駅ヨリ約8分)
	5期	2月8日(金)、14日(木)	10時～4時30分 ※堺市民会館
	6期	2月5日(火)、18日(月)	9時30分～4時 ※茨木市商工会館 (茨木駅ヨリ約13分)
	7期(夜)	2月4日(月)、7日(木)、12日(火)	午後5時30分～9時 大阪府中小企業文化会館 (地下鉄、谷町9丁目駅南へ約5分)
	日曜コース	2月3日(日)、10日(日)、17日(日)	午前10時～午後4時 ※大阪府青少年会館 (環状線森ノ宮駅ヨリ西へ約5分)

2. 申込方法

所定の申込書に会費を添え、次の申込期間申込所で申込み、テキスト、受講票、受験願書用紙を受領のこと。会場及び郵送での申込みは一切受け付けません。

各講習会場は定員制につき、各申込所にそれぞれ期別定員の割当てをしますから、申込期間中各申込所においても定員に達し次第満員締切りさせていただきます。

3. 受付期間と場所

受付場所	日 時
岸和田市消防本部内	岸和田市火災予防協会 1月28日(月) 14時00分～16時00分
豊中市消防本部内	豊中防火安全協会 1月28日(月) 9時30分～11時30分
茨木市消防本部内	茨木市災害予防協会 1月28日(月) 13時30分～16時00分
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅北へ6分)	東大阪市西防火協力会 1月29日(火) 9時30分～11時30分
守口市・門真市消防本部内 (地下鉄・守口駅前)	守口門真防火協会 1月29日(火) 14時00分～16時00分
堺市消防署内 (阪堺線・大小路駅前)	堺市危険物協会 1月29日(火) 13時30分～15時30分
地下鉄・四ツ橋最北寄出口 (四ツ橋ビル8階)	大阪府危険物安全協会事務局 2月1日(金) 10時00分～16時00分

(注) 各受付場所とも、昼食時は避けて下さい。

4. 会 費 (テキスト代を含む)

種別	会 員	会 員 外
甲種	7,000円 (6,000円)	8,500円 (7,500円)
乙種	5,000円 (4,000円)	6,000円 (5,000円)
乙種日曜コース	10,000円 (9,000円)	12,000円 (11,000円)

ただし
7期は各500円割増